

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【児童主催の人権集会】	1月に全校児童で「人権集会」を行った。運営委員会の児童の企画運営による活動で、当日は運営委員がライブ配信を行い、各学級で視聴・参加する形で実施した。運営委員長からの「人権とは何か」の説明、「あしなが」の読み聞かせ、シナリオや演出を児童達で考えた自作動画「最強軍団と人権」の配信等が行われた。その日から「大久保人権ウィーク」が始まり、各学級の人権目標が書かれた大きな花の模造紙「人権の花」に、「友達にしてもらってうれしかったこと」「自分が友達に親切にしたこと」などを書き込み、掲示された。また、運営委員から、毎日の給食時に各学級から集まった「人権の花」の内容が放送で紹介された。 成果 掲示物を通して全員が参加することで、人権について考えることができた。人権コーナーに各学級の「人権の花」を掲示し、お昼の放送で内容を紹介することで、人権意識を高めることができた。また、友達や家庭、周りの多くの人々に支えられていることを再確認し、感謝の気持ちをもつとともに思いやりの心を育むことができた。 課題 次年度の内容を検討し、さらに人権に対する意識を高めていきたい。
2 実践2 【生徒指導協議会・職員集会】	「児童理解のための資料」や「配慮を要する児童のための資料」、「支援教育資料」など、各学級担任や特別支援コーディネーター、生徒指導主事、養護教諭によって資料が作成され、共通理解を図り、今後の指導に活かすようにした。また、毎週末の職員集会時に、1週間の児童の様子で気になった点を共通理解し合い、学校で個に合った配慮ができるようにした。さらに、定期的に「人権感覚チェックリスト」を配付し、人権に対する意識を高めた。 成果 学級学年を越えて全職員で児童に関わることができた。また、児童の共通理解を図ることで、個に合った言葉掛けや指導の仕方に一貫性をつつことができた。 課題 有効な指導法や研修を取り入れ、全職員一人一人の意識をさらに高めていきたい。